

第1回 栗原市総合計画審議会 会議録

日時：令和7年1月24日（金）

午後1時30分～午後2時40分

場所：市役所2階 講堂

1 任命発令書交付

2 開会

3 挨拶 栗原市長 佐藤 智

委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中、ご出席賜り敬意と感謝を申し上げます。

ただいま、皆さまに栗原市総合計画審議会委員の任命書を交付させていただきました。

栗原市の総合計画は、まちづくりの最も基本となる計画で、将来、栗原市がどのような「まち」にして行くのか、そのためにどんな事をして行くのかを定めた、「まちづくり」の最上位計画であります。

これまで、総合計画に描いた5つの将来像のもと、『市民が創る くらしたい栗原』の実現を目指して、さまざまな施策を展開し、2度の大震災や新型コロナウイルス感染症の感染拡大に見舞われながらも着実に歩みを進めてまいりました。

その現在の総合計画は、令和8年度で計画期間が終了する事から、新たな栗原市の総合計画の策定に着手する事にいたしました。

委員の皆さまには、本日から2年間という長期間にわたって、新たな総合計画の策定について、ご審議いただく事になりますが、現在の総合計画により築き上げた基盤をさらに強固なものとし、さらなる発展への指針となる、夢と希望に満ちた計画となるよう、皆さまからの貴重なご意見を賜りながら、計画策定にあたってまいりますので、委員の皆さまにおかれましては、活発なご審議をお願い申しあげ、ごあいさついたします。

4 自己紹介（委員・事務局）

5 会長及び副会長の互選について

委員から事務局案の提示を求められ、提示したところ次のとおり決定。

会 長：中田 千彦 氏（公立大学法人宮城大学 教授）
副会長：千葉 節朗 氏（栗原市企業連絡協議会 会長）

6 協議事項

（１）栗原市総合計画審議会について（資料１）

（２）栗原市第３次総合計画策定基本方針素案について（資料２）

（委員）

別紙１の総合計画策定体制の中で、市民の声という事で、ワークショップなどを開かれるというお話を頂戴しましたけれども、うちの大学校にはたくさん若い者がいますので、そういった形で意見聴取などしていただきながら、ちょうど私が次年度から携わる研究でまちづくりみたいな部分をしたいなと考えておりますので、いろんな、逆にアドバイスをいただきながら、こちらも積極的に参加させていただきたいなと思っております。

意見と言いましょうか、こちらからのお願いといいましょうか。

よろしくお願いします。

（委員）

今回から初参加なんですけど、第３次計画ではなくて、第２次栗原市総合計画の検証とか確認という事は実施されるんでしょうか。

そして、３次計画も確認、実証、検証とかはされるんでしょうか。その点お願いします。

（事務局）

策定にあたりまして、検証等につきましても実施して参るところではありまして、例えばですね、住民満足度調査という事で、アンケートを実施しまして、その結果も踏まえながら第２次総合計画の後期基本計画の分析、評価等を検討して、次の３次計画の方に活かしていきたいと考えております。

（委員）

今の点、私の方でも確認したいんですけども、参考資料の方の設置に関して、組織とありますが、形としての案件だと思うんですけど、今の第２次の方のフィードバックみたいな事を、この会議の中で、どういう形で何か話題にな

るのか、あるいはそれを集約したり反映させたりするときのプロトコルみたいな事がありうるのかというのが、たぶん委員さん、ちょっとお聞きされていると思うので、わかる範囲というか、ご説明できる範囲で結構ですので、そのやりとりみたいな事が可能なかどうか、ちょっと、わかれば教えていただきたいのですけれど。

(事務局)

まず、大まかな策定スケジュールという事で5ページ目の方にお示ししているところではありますが、まず、今年度ですね、住民満足度調査の、どのような形で調査を行なえばよろしいかというところの調整を図りながら、令和7年度入りしたら、まず、市民満足度調査の調査項目の検討を皆様とお願いしたいと考えているところであります。

そちらを踏まえまして、集計結果、審議会の②では結果の速報値を報告させていただき、③につきましては満足度調査の結果と併せ、第2次後期基本計画の検証を行なうという事となっております。

これから細かいスケジュール、又は皆様にお示しする体制等については、今後説明をさせていただき予定となっております。以上です。

(委員)

今の話、ちょうど5ページ目のところにタイムラインがありまして、この第3次の会議の中では令和6年度に実施される第2次の部分の何らかのフィードバックを話題として取り込んで行く。

当然ながら2次に関する様々なご意見等が、まだ2次残っておりますが、進行上でありますけれども、それも含めて3次の中身を作って行くというのが我々の一つのミッションと位置付けて行くとなりますので、是非そのあたりも、もし、これまでの実績につきまして、何かご意見等ございましたら、この委員会の中できちっと取り上げていきつつ、それを次の3次に盛り込むという作業を最終成果にしていきたいというふうに考えますので、是非事務局の方も2次の方の様々な検証内容につきまして、共有できるものは、これが、様々な本当にいろいろな 이슈にわたっての検討になると思いますので、そのあたり、どういうふうにこの会議の中で議論ができるか、するかというスケジュールや内容の整理もこれからご検討いただく事だと思いますので、そのあたりは是非進めていただいて、特に委員さんの方々にはそういう 이슈な事に関する関わり方が、我々にも多少、3次を作るのが影響が出てくるというのがありますので、その点ご理解いただきまして、ご協力をいただきたいと思いますので、そういう形で進めていければと思います。

(3) 今後のスケジュールについて

(委員)

スケジュールの件につきましてはご説明いただいた通りで理解の方を進めさせていただきました。

最終的に令和8年度の成案のときに、どのようなものが出てくるのかなと。私は初めての経験なので、例えばこんなパンフレットのようなものが出てくるのか、あるいは冊子みたいなもの、写真なのか、そういったものが何かあれば教えていただきたいなというふうに思います。

(事務局)

まず、こちら第2次栗原市総合計画策定時の計画になりますが、このような形での冊子を成案として策定するという事になります。それから、今回は第3次の前期計画という形で冊子を作るような形になります。こちらの方を市長が諮問しまして、答申を出すというところまでお願いするような形となります。

もし、在庫があれば委員の皆様、概要版はお手元にお配りしてるところであります。在庫がありましたら後ほど送付させていただきたいと思います。

(委員)

これは、電子版とかないんですか。

(事務局)

電子版でホームページの方にも。確認させていただきます。ホームページの方にも掲載されているかとは思いますが、なお確認させていただいて、冊子の方は郵送させていただきたいと思います。

(事務局)

申し訳ありません。冊子の方ですね、令和7年度の最初の会議の際に、あらかじめ会議の前に資料をきちっと、これからは事前に委員の皆さんにお送りして、ご覧になっていただいて会議に参加していただきたいと思いますので、その際に在庫があれば一緒に総合計画の冊子をお送りしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

(委員)

資料1の大きな4番、審議内容の1で(1)の①で、現在の総合計画の達成度についての評価というのが入っているので、先ほど来議論になっていた、今までのはどうだったのかという振り返りはなされるかと思うんですが、今事務

局側から繰り返し住民満足度調査という話で、それで、もちろん住民が満足している事が一番大事なので。働きやすい栗原ですか？とかっていうので、そう思うっていう人が増えていけばいいと思うんですけど、④で客観的な Key Performance Indicator ですか、K P I を出すという事だったので、住民満足度調査をやって集計するまで結構時間があるかと思いますので、第2次の計画の中に客観的な指標みたいなのが書いてあるのかどうかにもよりますが、就業率が増えたのかとか、ここだと人口を5万9千100にするって書いてあるんで、5万9千100になったのかとか、簡単にわかる数字でまず足元を見つめると。仙台への流出人口を減らすっていう気持ちを聞くのもいいと思うんですけど、実際に社会減がどのくらい抑制されたのかとか。さっばかるような数値で議論の最初に情報提供いただければ、確認プロセスもスムーズに行くのではないかというふうにと思いますので、よろしくご検討くださいませ。

(事務局)

概要版の方にはちょっと数値的なものは載っておりませんが、計画書の方に成果の指標という事で、その施策ごとにですね、例えば保育所の入所待機児童数、目標数値ではゼロにしていけますよとか、そういった数値ございますので、そういったもので客観的な達成なり分析をするような形でお指示していきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

(委員)

スケジュール見させていただいて、今回総合計画なので後期基本計画の検証からスタートするんですけども、これ前期あるじゃないですか。前期の計画であるんですかね。それを我々閲覧する事できるんでしょうか。

情報が多ければ先ほど言った客観的なデータがあるといろいろ検討できるんですけど、いきなりボーンと出されても、そこから議論してくださいってなっても経緯がわからないと何も。なるだけ情報多い方がうれしいなと私は感じてるんですけども。開示できるものがあつたら。

(事務局)

2次の総合計画の前期、それから後期という事でございますが、前期につきましては、後期策定時に検証を行っているというところもありまして、その結果につきましては、ホームページ等で掲載しているところであります。

審議会の会議の経過状況を公開しておりますので、そちらも情報として御覧いただきながら審議を進めていきたいと考えております。

(委員)

あの、可能であれば、その、別々のポイントのところに全てバラバラにあるんじゃなくて、ここのところに全部こういうのがありますみたいなポータル的なものを準備していただく事って可能なんですかね。我々しかアクセス出来なくてもいいんですけども。

なんか、ここ見てください。ここ見てください。って検索しても、栗原市のホームページ正直見ないんですよ。だから、検索って栗原市の私嫌いなんですけどホームページ。わかる所にわかるデータを集めていただいて、そこから判断するってしないと、また、情報どこにあるのかっていうのを。で、冊子で送られて来て、紙であっても検索率悪いですし。そういった面で電子があるとすごくうれしいんで、ご検討いただきたいと思います。

(事務局)

はい、検討してまいりたいと思います。

(委員)

私、2次の後期のときにちょっと関わってたんですけど、冊子の、ちょっと今何となく見ましたが、委員さんもこういう席に着かれるのは初めてだっていう方も多くいらっしゃるんで、この概要版とその冊子、前期・後期から統合版みたいな形で、どんな事が書かれているかっていう事をあまりご承知ないかと思うんです。

ちょっと前の経緯から、感触的な事なんですけども、中身としては何かすごく深堀をしているという事ではないんですが、そこに文言化されているという事から、各部署・部局が行動規範になるような、ある意味丁寧な言葉遣いで書かれているというふうに私は印象を持っているので、それを頼りに皆さんがそれぞれの関係者が行動するという事の軸になっているような文言の掲載だというふうに私は認識しております。

そのさっぱりしたものが概要版なんですけど、なので、一見なんとなく味付け薄いように見えるんですけども、実はそこから皆さんがスタートされているので、そこに掲載される文言を含めた内容をこの委員会で第3次に向けて検討して行くという事になりますので。

どうもその、行政のそういった書類って何となく味気ないところなんですけど、それにはそれなりのある種の理由があると私は思っているんで、その事にどういう言葉遣いでこれを実際に担う皆さんたちに伝言をして行くのかっていう事の情報、メディアを用意する事が私たちのミッションだというふうに捉えているところがありますので、是非そのあたり、「なんじゃこりゃっ」て引かないで、それを、行間の行間を読んで行くようなところがありますので、実際にその冊

子をお送りいただく事もだし、電子版も閲覧できるようでありますし、また今の話でもある、検討していただいて、過去の議論の成果も閲覧が可能だとするならば、そこでどういうふうな言葉遣いで書かれているのかという事も、できればご一読いただく形で、「あっ、そういう事が10年前に起きたのか。」とか「そういう事は5年前に起きたのか。」という事を振り返っていただくと、これからの10年5年という事に対するベクトルを考えて行くうえでは、我々全体として、ある方向性を持って議論ができるんじゃないかと思っていますので、今回委員になられた皆様には厄介な事ですけれども、是非波長を合わせていただいてご意見をいただきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いします。

そういう事で、役所の方も、そこでまとまった言葉遣いというのが本当に頼りがいのあるエネルギーのある燃料になりますから、その辺お力添えをいただきたいなと思いますので、よろしくお願いします。

ペーパーベースの話とか、資料のやりとりが、なかなか難しい所もありますので、そのあたりご承知いただいて、お待ちいただくものはお待ちいただいて、見れるものは見ていただく形にしたいと思いますので、よろしくお願いします。

7 その他

(事務局)

- (1) 次回の開催予定は、令和7年5月頃の開催を予定。具体的な日程が決まりしだい連絡する。
- (2) 資料について事前に送付し、ご確認いただく。

(委員)

前回の冊子が自宅の方に届きまして、私審議会に出てるんだっていう事を知人にお話ししたところ、そういった会が開かれている事の認知度が低かったんですね。

なので、結構、皆さんに普段から意見を30代から40代の方々によく聞く事があるので、こういった会、せっかく皆さんが集まって、人生の時間を使って市のために検討してるので、広報くりはらで1回目行われて、今後2年間開催しますっていう事を告知するという事だったり、都度するのも大変なので、そういった事をやっているという事を市民の方に公表する事も大切なのかなと思って、感じておりましたので、是非ご検討ください。

(事務局)

貴重な意見ありがとうございました。

市民への周知については検討させていただきます。

8 閉会

(委員)

本日は、第1回総合計画審議会という事で、皆様方には大変お忙しいところ参加いただきまして本当にありがとうございました。

大変失礼でございますが、今回初めての方挙手をお願いします。

と、いう事であれば、若干今までの事務局の説明は納得、納得と言う言葉悪いですが、理解しがたかったかなというふうな感じもします。

という事で、私、この委員とかって、諮問とかって、何を言いたいかって言ったら、すみませんけど皆様方にこのディレクターというふうな言葉使わせていただいてですね、その任に担っていただきたいという感じ。

素案は積極的に、今言ったディレクター的な存在を発揮してですね、意見をどんどんどんどん、こう、あとは自分で、力添えをいただければ、より一層よい栗原になるのではないかな。

いずれにしても、先ほど人口の話もありましたけれども、もうあと5年経つと30%位人口が減って行くというようなデータも、今日の日本経済新聞に載ってましたけれども。まあ、そういう時代ですから、人口減少の中で、いかにして、先ほど宮城大学の先生が言った、満足度における云々といったふうについては本当に真剣になって皆様方の意見を聞かないとまとまらないし、どんな文字が、立派な文字があっても、実際、それに伴わなければ人は寄ってこない。住む人もいなくなる。というふうな事、本当に危機を持った今度の3次計画になんなくちゃいけないので、初めての方につきましては、事前に2次計画のものが、この雰囲気見ても、ちょっと私も、今委員さんもちょっと手直ししているのを見ましたけれども、おそらくおかしいんじゃないのかなと。だけれども、マイクを持って、こう、なかなか言いづらいというふうな事もあったのかなと思って察してました。

いずれにいたしましても、本日はお忙しい所おいでいただきまして、審議していただきました事につきまして、感謝申し上げます閉会のごあいさつにかえさせていただきます。

今日は本当にありがとうございました。

(午後2時40分)